

ポイント

・この課題は「話すこと・聞くこと」と、「関心・意欲・態度」の成績に入ります。

(目標) ①話し合いを効果的に進める方法を学びよう。

②話し合っして提言をまとめる方法を知り、自分で提言を考えてみよう。

(話し合いの様子を読んで考えてみよう。)

(やり方) 家にある白い紙か、(印刷できる人は後ろの解答用紙を印刷し)、自分の組・出席番号・名前と、

問題1～3までの答えを書いて、登校日に提出する。

話す・聞く成績 A…②・③の答えが過不足なく書いてあり、答えとして正しい内容

をあげた。

B…②・③の答えで足りないとウソがある。また、間違えて

いるウソがある。

ウ…②・③の答えで足りないとウソが多い。また、間違っている

ウソが多い。

関心・意欲・態度成績 A…①・②・③の答えが過不足なく書いてあり、丁寧に

取り組んでいる。

B…①・②・③の答えで足りないとウソがある。また、

雑に取り組んでいるウソがある。

ウ…①・②・③の答えで足りないとウソが多い。また、

雑に取り組んでいるウソが多い。

\*答えは解答用紙もしくはノートかルーズリーフにまとめて次の登校日に提出しよう。

目標

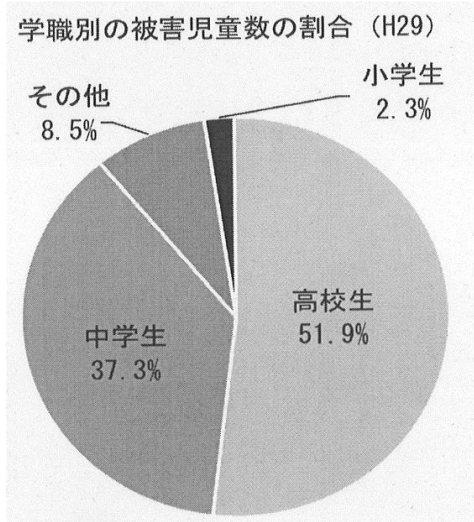
①話し合いを効果的に進める方法を学びよう。

②話し合っして提言をまとめる方法を学びよう。(話し合いの様子を読んで考えてみよう。)

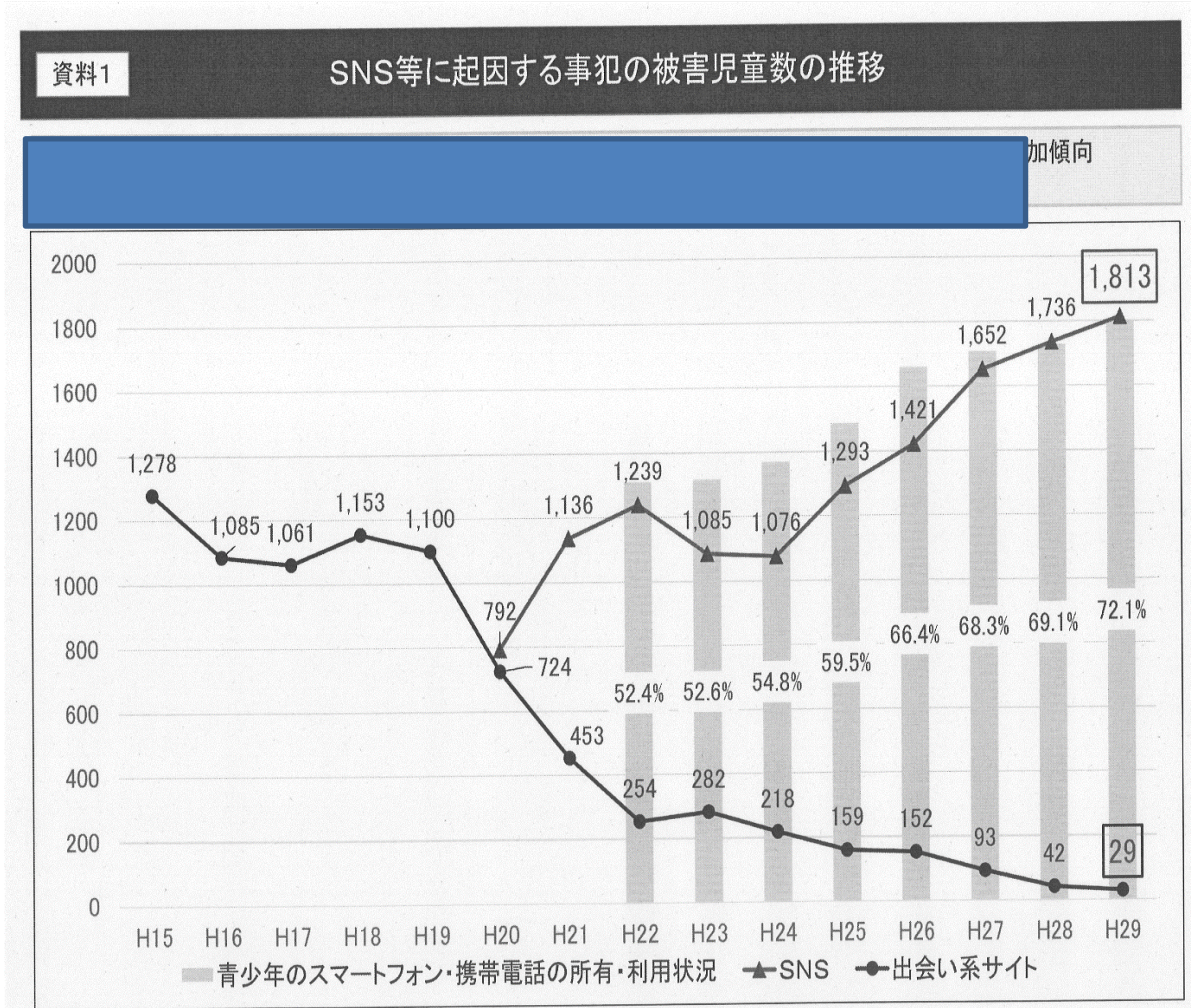
問題1

学生のAさん、Bさん、Cさん、Dさんの四人のグループは「総合的な学習の時間」と「国語の課題解決のための会議」で、自分たちの課題解決のために「SNS等に起因する事犯の現状と課題」を調べ、話し合いをしました。次のグラフ1、グラフ2、グラフ3と文章はその時のものです。これらについてあとの問いに答えなさい。（警視庁少年課の情報技術犯罪対策課で発表した平成三十年四月二十六日付の資料「よひ」より）

グラフ1

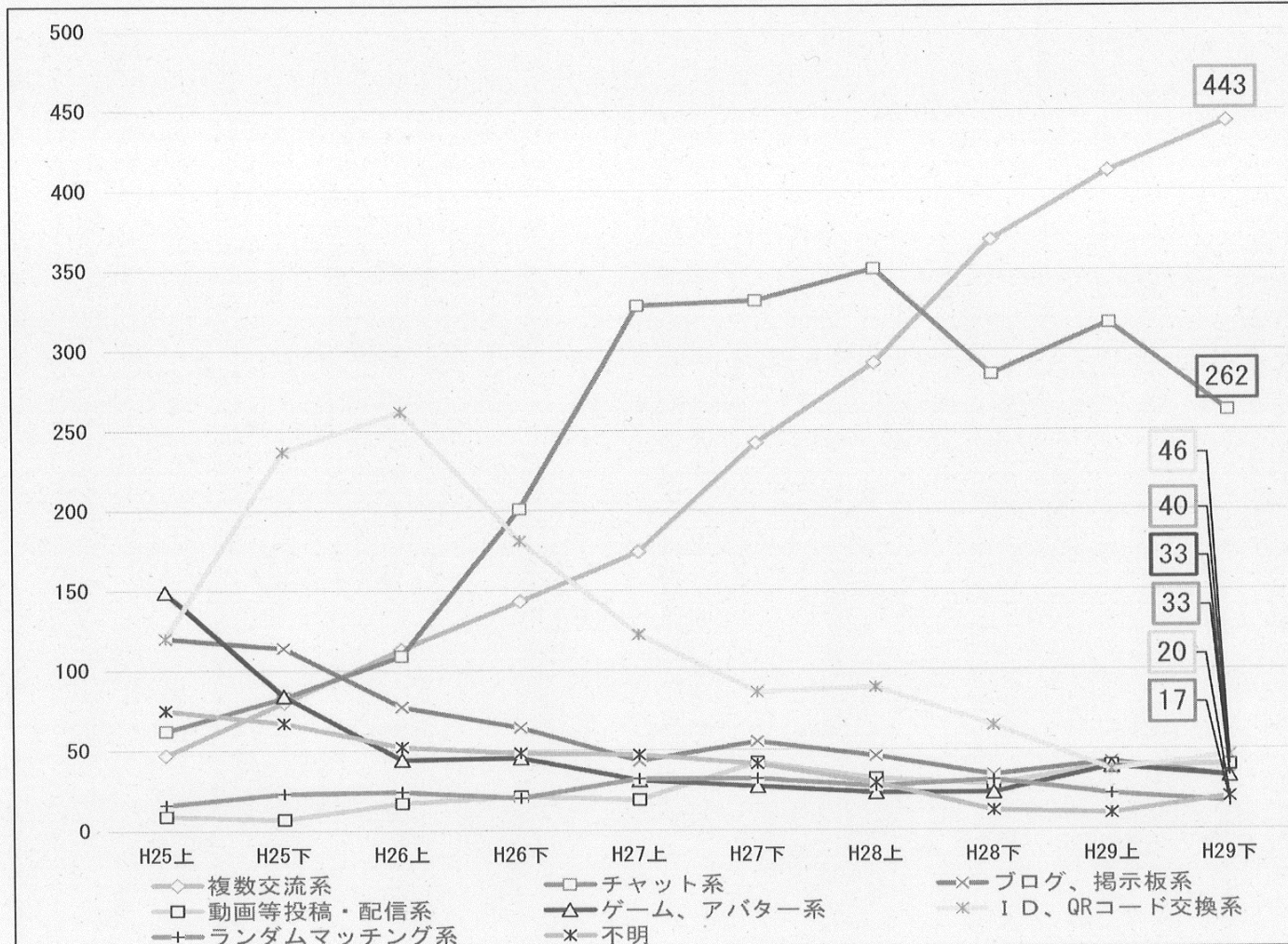


グラフ2



※ 青少年のスマートフォン・携帯電話の所有・利用状況(統計数値)については、内閣府ホームページから引用

## SNSのサイト種別の被害児童数の推移



複数交流系：広く情報発信や同時に複数の友人等と交流する際に利用されるサイト

チャット系：面識のない利用者同士チャットにより交流するサイト

ブログ、掲示板系：趣味やカテゴリー別のコメント、日記等を掲載し、それを閲覧した利用者との交流するサイト

動画等投稿・配信系：動画や画像、音声等を投稿、配信し、それを閲覧した利用者との交流するサイト

ゲーム、アバター系：主にゲーム等のキャラクターやアバターとして他の利用者との交流するサイト

ID、QRコード交換系：IDやQRコードを交換し見知らぬ相手との交流することを目的としたサイト

ランダムマッチング系：ランダムに他の利用者との結びつき、その利用者との交流するサイト

不明：サイトやアプリを特定するに至らなかったもの

Aさん 本日は、SNSに起因する事犯の現状と課題について考えます。まず、SNSに起因する被害児童の現状を報告します。」警視庁少年課の情報技術犯罪対策課で発表した平成二十年四月二十六日付の資料から「グラブ1」〜「3」を紹介します。「SNSに起因する事犯の被害児童数の推移（SNS）」「グラブ1」では、SNSに起因する犯罪が毎年増えていることがわかります。

Bさん これは多いですね。平成二十四以降、青少年のスマートフォンの所有利用状況が増えるほど、総被害数は増えているのがわかりますね。

Aさん では、どのようなSNSのサイトで被害が多いのか「グラブ3」を見てください。複数交流系サイト、チャット系サイト、ブログ・掲示板系サイト、動画等投稿・配信系サイト、ゲーム・バナー系サイト、ランダムマッチング系サイト、その他、サイトやアプリを特定するに至らなかったものについて被害があることが分かります。

Cさん サイト別では「1」系「サイトの被害が圧倒的に多く、他種別は横ばい、または減少傾向であることがわかります。

Dさん たしかに、「1」に代表されるライン、ツイッターなどは、特に私たちの周りで使っているイメージが多いですね。

Aさん そうですね。それに関連して「グラブ2」は、平成二十九年度の「学識別の被害児童の割合」です。学識別にみると、高校生及び中学生が「2」割合を占めていますね。

Bさん そうですね。まだ、スマートフォンをもったばかりの児童は使い方や情報モラルを知らずに使ってしまったので被害にやすいのではないのでしょうか。学識別では、ほぼ高校生と中学生がSNS被害の対象者だということがわかりますね。

Cさん 情報モラルの基本が守られていないからだと思います。最低限守らなければならないことがありますがよね。例えば、掲示板やライン、ツイッター等で他人を誹謗中傷しないということだと思います。普段の生活もそうですが、他の人のことを思いやるということが大事だと思います。自分がされて嫌な事はないという基本的なマナーが守られていないことが原因ですよ。

Dさん そうですよ、こういったことは犯罪やトラブルになりかねませんよね。学校の知らないところで作られた学校別の掲示板や学校裏サイトで、クラスの話題や部活動の話等を書いているだけでなく、友達の悪口を書いてしまっている人がいて、大きな問題となったと新聞で読みました。その新聞記事では、「男子高校生が、インターネットの掲示板で、インシヤルを使って人物を特定できる内容で、同級生の悪口を書いた。はじめはいたずらや、からかい半分で書いていたことがエスカレートし、知らぬ間に犯罪との境界線を踏み越えてしまった。」という内容でした。

Aさん 掲示板等で他人の悪口を書くことは、その内容によっては名誉毀損や侮辱罪といった犯罪行為になる可能性がありますよね。

Bさん こわいですね。いたずらや、からかい半分で掲示板等で他の人の悪口を書いたり、他人の写真を貼り付けることは絶対にやらないことですね。普段の行動もそうですが、犯罪にならないからやっというという考え方が一番危険だと思います。

Cさん そうですね。自撮り被害も増加していると聞いたことがあります。自分の写真でも危険ですね。普段の生活も、インターネットの中でも一緒ですね。マナーが守れていない人や、あまりにも無防備な人を見つけたらすぐ注意してあげることも必要ですね。

Bさん インターネットは多くの人が利用しているため、自分が行ったことが自分が考えている以上に大きな問題になってしまい、犯罪にまで発展してしまふことがあるわけですね。

Cさん やはり普段の生活も、不特定多数とやり取りするSNS上でも、言葉を大切に使うことが大切です。危険が潜んでいることを肝に銘じて、注意深く利用していくことが大切ですよね。

Dさん どんな場所でも「己の欲せざるどころ人に施すことなかれ。」ですよね。

Aさん ここまで、私たちのSNSに起因する事犯の現状と課題について話してきましたが、私たちが考えなければならぬことについては、Bさん、Cさん、Dさんがいろいろ考えていたように思います。それらを踏まえSNSにおける課題を解決するために大切なことを改めて整理するとして、

私たちが、

が重要ですね。

- (ア) 1 に入る言葉を図より読み取り書きなさい。
- |   |   |
|---|---|
| 2 | 1 |
|---|---|
- (イ) 2 に当てはまる数字を算用数字で書きなさい。

(ウ) 本文中の          に適するAさんの言葉を次の①～③の条件を満たした一文でまとめ書きなさい。

- ① 書き出しの「私たちは」という語句に続けて書き、文末の「重要ですね。」という語句につながるように書くこと。ただし、「犯罪」という言葉を入れること。
- ② 書き出しと文末の語句の間の文字数が四十文字以上五十文字以内となるように書くこと。
- ③ SNSに起因する事件と犯罪における課題を解決するために大切な点に触れていること。

**問題2**

教科書教科書 (P167～P172) をよく読み、次の表を見て問いにこたえなさい。

会議の目的ごとにA～Dに分類しました。あとの1～5の問いに答えなさい。

- A・「何をいつまで決めるか」を明確にする。
- ・ 討議内容に応じた意思決定権者を参加させる。
  - ・ 意思決定に必要な情報や基準を準備しておく。決定方法を明確にしておく(全会一致か、多数決など)。長が出席しない会議では決定の裁量の範囲(いつまで決めてよいのか)を明確にしておく。
- B・資料の①ビジュアル化、データ化などによって現状共有に要する時間を短縮する。
- ・ 対策の議論にあたっては当事者以外に参加者の知恵も活用する。
  - ・ 解決策については行動がイメージしやすいようにできるだけ具体的なものをとする。
  - ・ 議論の矛盾や飛躍などが無いよう論理的で説得力のあるものにする。
- ②ファシリテーター(進行役)は議論が順を踏まえているか確認して進行する。
- C・参加者には「思いつき」「レベルでもとにかく発言させる」。
- ・ 自由奔放な意見、極端な意見など通常の会議では出にくい意見も尊重する。
  - ・ 発言内容に対する批判は行わない。
  - ・ 他者のアイデアを組み合わせたり発展させることを歓迎する。
  - ・ 書記役は出された意見を取捨選択せずに記録として残しておく。
  - ・ 会議終了後には出されたアイデアを論理的な視点で整理し、実現可能な施策につなげる。
- D・指示を出す側は、業務指示が個人レベルまで確実に伝わっているかどうかを確認する。
- ・ 指示を出す側は、その指示のもつ重要性など背景についても説明する。
  - ・ 指示を受ける側は、指示内容に疑問がある場合はその場で質問する。
  - ・ 指示を受ける側は、自分以外のメンバーに出されている指示についても理解を努める。
  - ・ 議事録に指示内容を残す。

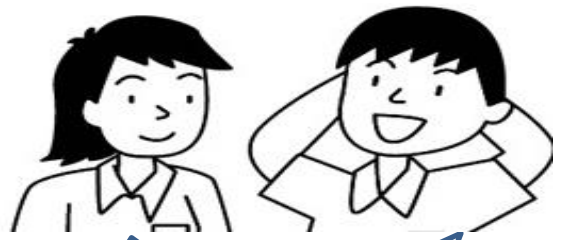
- 1 A～Dに当てはまる言葉をあとの選択肢ア～エから選び記号で答えなさい。  
 ア 伝達するための会議（方針を徹底する場・予実績検討の場・チェックし反省する場）  
 イ 決定するための会議（問題意識・価値意識・目的意識）  
 ウ 創造するための会議  
 エ 解決策を打ち出すための会議（問題解決の場・教育訓練の場）
- 2 次の会議はA～Dのどの会議にあてはまりますか。書きなさい。  
 ア グループで自由に意見を出し合う会議  
 イ 提言や宣言などを決める全体会議  
 ウ 合唱祭・文化祭等の会議  
 エ 修学旅行などの班長会議
- 3 傍線①の「ビジュア化、データ化」とはどのようなものや、方法がありますか。例を一つあげなさい。
- 4 傍線部②の「ファシリテーター」の説明について①～④に当てはまる言葉を書きなさい。

会議に重要な役割を果たすのがファシリテーター（進行役）です。「①」的な立場を維持しながら会議のプロセスを（②）し、参加者の（③）や（④）（④）「へ導く」人のことです。

- 5 会議を振り返り、話し合いました。会議について大切なことは何かを考え、適切な言葉をあとの選択肢ア～オより入れて完成させなさい。

夏目さん

僕たちの社会は、さまざまな（①）や考えをもつ人から成り立っているから、社会生活の中で課題を解決していくには、違う立場からの様々な意見を生かし合いながら、（②）を形成することが大切なんだね。  
 今回の会議では、複数の立場が考えられる課題について話し合った。それをクラスで一つの（③）にまとめられのがよかった。話し合っ②するには、話し合いの（④）やゴールを意識して、（⑤）に沿って意見や③を絞り込んでいくとよいことがわかったよ。



芥川さん

自分の意見や一つの見方に固執せず、④や話し合いの流れに応じて、自分の意見を見直したり他の意見を取り入れたりするとよくなることがわかったわ。  
 今回はファシリテーターがやってくれたけれど、それぞれの意見の a 点、b 点を整理し、長所を生かしてまとめたり新たな提案をしたりして、よりよい結論にまとまるように協力することが大切だとわかったわ。それから、これまで話しの方向や、進み具合、制限時間をふまえるなど話し合いの展望を持つことも大事だったわかったわ。

- ア 目的    イ 提言    ウ 観点    エ 合意    オ 価値観

- 6 夏目さんの振り返りの a と b には対義語が入ります。話を整理する際に必要なポイントとなるように書きなさい。

